

ウンカ情報第4号

(「あいちのかおりSBL」など普通期水稻を対象とする)

平成24年9月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 セジロウンカ・・・発生量急増！被害も確認！

8月下旬の本田調査では、104ほ場のうち、県内全域の68ほ場で捕獲され、払い落とし調査では過去10年で最も多く、捕虫網調査では過去10年で2番目に多い捕獲数になりました(表1)。

名古屋市港区で本種によると思われるイネの局所的な枯れ上がりを、海部地域などでイネの生育不良や茎葉の黄変を確認しています。注意してほ場を見回り、被害を確認したら表2を参考にして防除を実施してください。なお、農薬の散布にあたっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止にも努めてください。

表1 セジロウンカの本田調査結果(平成24年8月下旬調査 単位:頭)

調査方法	成虫	幼虫	計
粘着板による10株の払い落とし	4.15 (2.06)	9.77 (2.99)	13.92 (5.05)
捕虫網による20回振り	24.28 (8.66)	19.63 (5.76)	43.91 (14.40)

注1) ()内数値は平年値(平成14~23年の平均)

注2) 104ほ場での平均

表2 セジロウンカに対する主な防除薬剤

薬剤名
キラップ粒剤
キラップフロアブル
マラソン乳剤
スタークル粒剤/アルバリン粒剤
スタークル豆つぶ
スタークル液剤10
ダントツ粒剤
アドマイヤー1粒剤
アドマイヤー水和剤

2 トビイロウンカ・・・県内で発生を確認！

8月下旬の本田調査において、犬山市のほ場で1頭捕獲されました。現在のところ、県内では本虫による被害は確認されていませんが、九州地方では甚大な被害が報告されています。ほ場での発生状況に注意してください。